

平成24年度昭和区区民アンケートの調査結果

調査の概要

1. 調査の目的

区民の区政に対する認知度や意見等を把握し、次年度区政運営方針の策定や、まちづくり事業の参考とする。また、区役所に対するニーズの傾向などを区にお住まいの方にわかりやすく説明することを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市昭和区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の20歳以上の男女 2,000人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

平成24年6月5日～6月27日

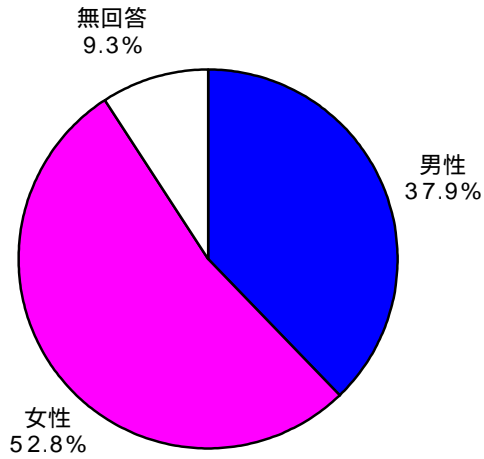
7. 回収数

882人(44.1%)

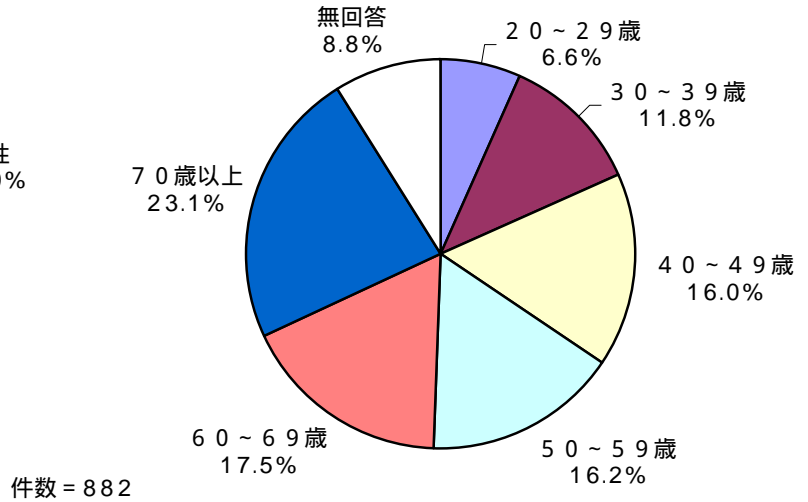
注：文章や表、グラフに記してある構成比率(%)は、小数第2位で四捨五入しているため、総和が100.0とならないものがあります。

調査対象者の属性

性別



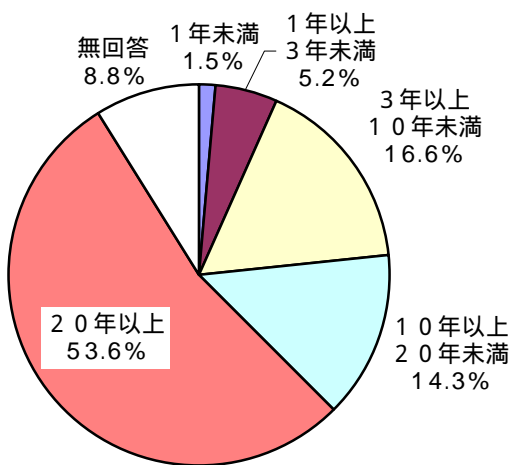
年齢



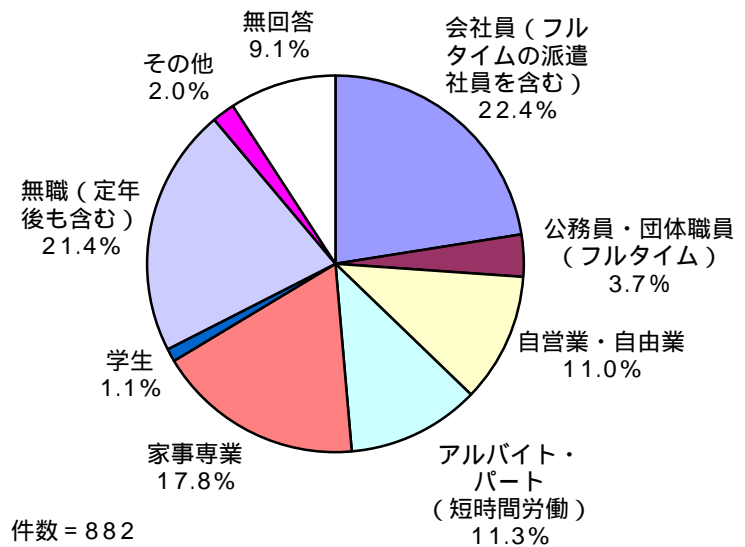
居住学区

(%)											
八事	滝川	広路	川原	伊勝	松栄	御器所	吹上	鶴舞	村雲	白金	無回答
8.2	11.7	10.1	9.1	5.2	12.0	10.8	8.0	6.0	6.2	3.5	9.2

居住年数



職業



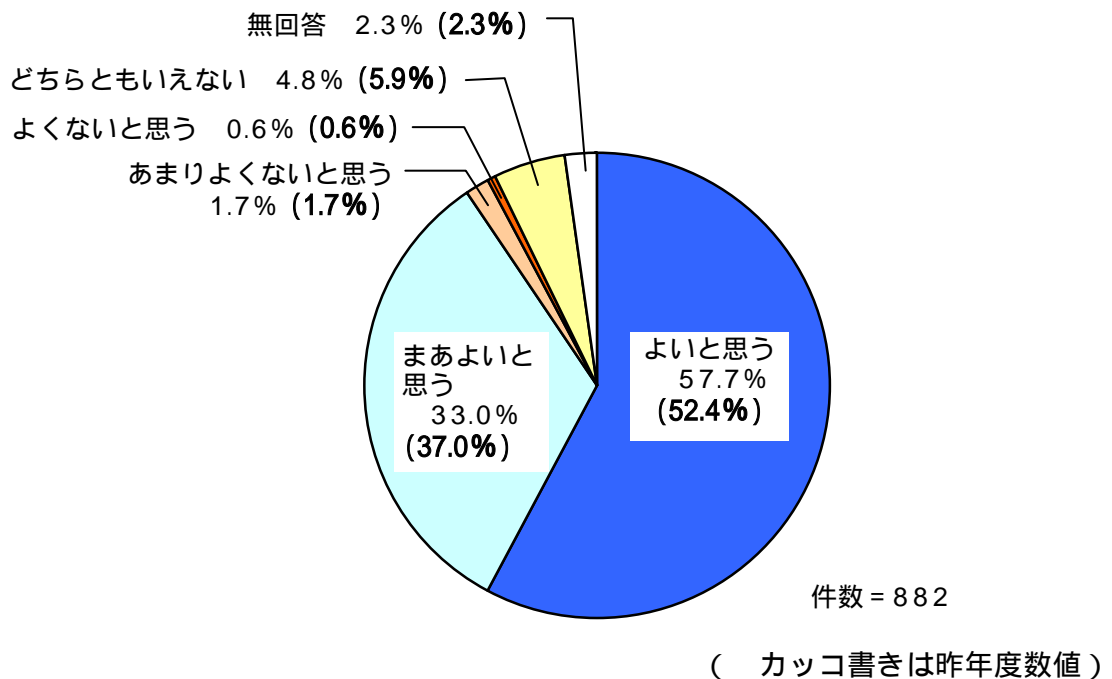
1 昭和区のまちづくりについて

基本目標	住み続けたいまち ホットほっとタウン昭和 (みんなが安心でき、心があたたかい・アツいまちというイメージ。)
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で快適な「ほっと」できるまち 【テーマ：防災、防犯、交通安全、町の美化、犬猫の飼主のマナー向上など】 ・人や地域があたたかい「ホット」なまち 【テーマ：高齢者・障害者支援、子育て支援、健康づくり支援など】 ・ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち 【テーマ：まちの魅力発信、まつりなどのイベント、文化スポーツ活動支援など】 ・信頼されあたたかみのある「ホット」な区役所 【テーマ：窓口サービスの向上、広報の充実、区民ニーズの把握など】

(1) 基本目標と重点施策の評価

「よいと思う」が58%、「まあよい」と合わせると9割を占める

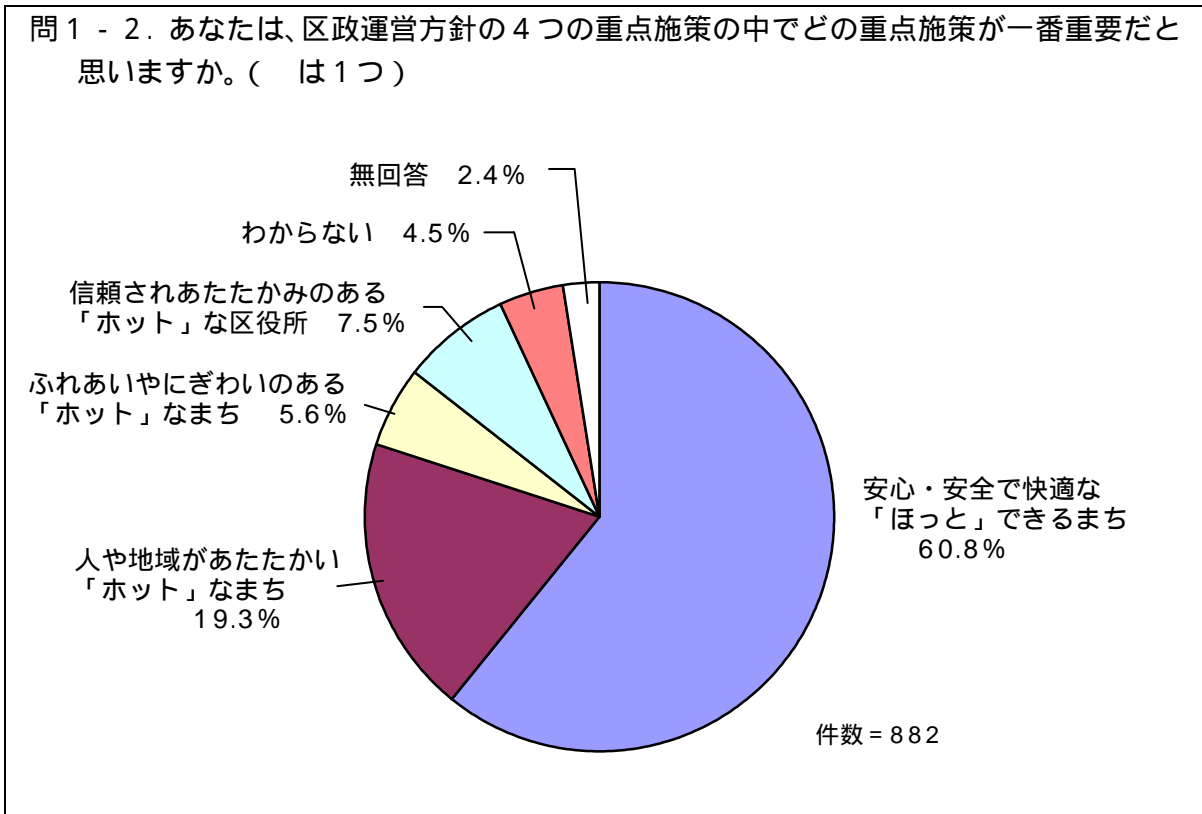
問1. 昭和区では、上記のように区政運営方針で基本目標と4つの重点施策を掲げています。あなたは、この基本目標と重点施策について、どう思いますか。(は1つ)



基本目標と重点施策の評価は、「よいと思う」が57.7%と6割弱を占め、「まあよいと思う」(33.0%)を合わせると90.7%と大半の人がよい評価をしています。一方、よくない評価(「よくないと思う」と「あまりよくないと思う」を合わせた割合)は2.3%と僅かです。

(2) 4つの重点施策の中で一番重要な施策

一番重要は「安心・安全で快適な「ほっと」できるまち」



区政運営方針の4つの重点施策の中で、一番重要だと思う施策は「安心・安全で快適な「ほっと」できるまち」が最も多く6割を占めました。次いで「人や地域があたたかい「ホット」なまち」(19.3%)となっています。

具体的な理由の記入 699件

問1 - 3. 問1 - 2でお答えになった理由は何ですか。ご自由にお書きください。

4つの重点施策の中で一番重要だと思った理由を自由回答形式でたずねたところ、全体で699件の理由があげられました。

施策別では、『重点施策1 安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』(467件)では、安心・安全なまちの実現を重要とした理由が257件と最も多く、次いで防犯(106件)、防災(31件)となっています。

『重点施策2 人や地域があたたかい「ホット」なまち』(143件)では、人や地域とのつながりを重要とした理由が86件と最も多く、次いで高齢者支援(23件)、子育て支援(18件)となっています。

『重点施策3 ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』(43件)では、イベント・交流機会の創出を重要とした理由が25件と最も多く、次いで魅力づくり(15件)となっています。

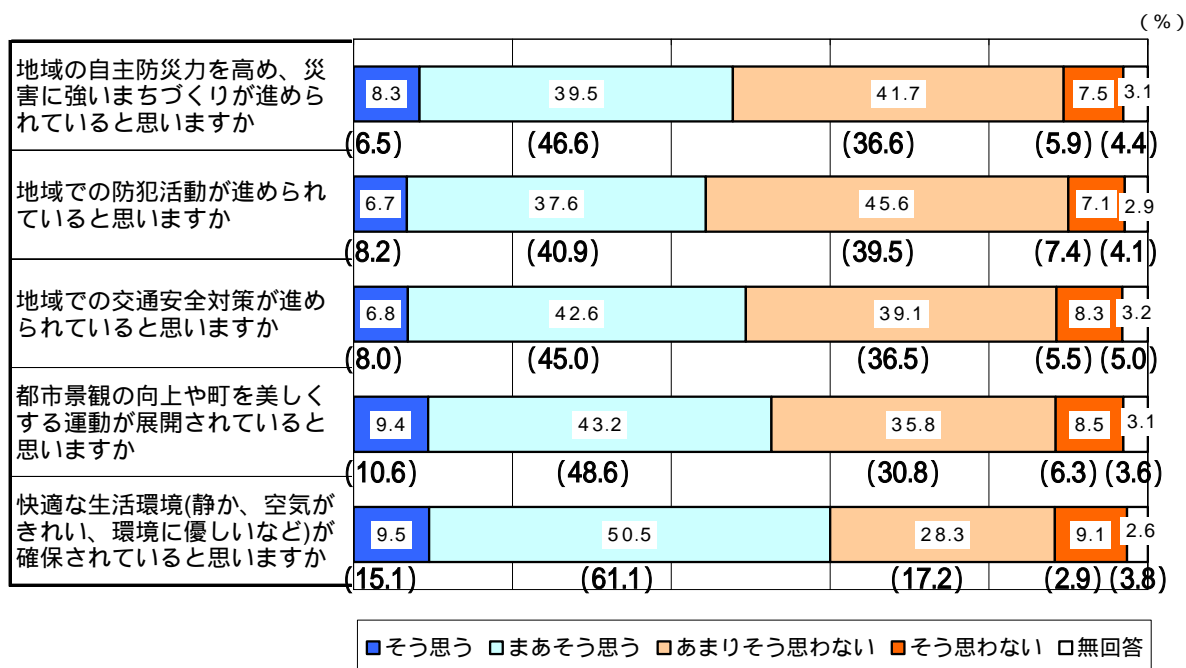
『重点施策4 信頼されあたたかみのある「ホット」な区役所』(43件)では、区役所職員の対応を重要とした理由が22件と最も多く、次いで信頼される区役所(15件)となっています。

(3) 重点施策事項の実現度

1) 『安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』に関して

「快適な生活環境が確保されている」は「思う」が60%、
一方、「地域での防犯活動が進められている」は「思わない」が53%

問2. 区政運営方針に掲げる重点施策事項が、昭和区において、どの程度実現できている
とと思いますか。(以下の項目について該当する番号に をつけてください。)
『安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』(災害に強い、お住まいの地域の治安が
よい、交通事故が少ない、花や緑が多くまちがきれいなど)に関しておたずねします。



(カッコ書きは昨年度数値)

『安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』に関する実現度のプラス評価(「思う」と「まあそう思う」を合わせた割合)は、

- ・ 「地域の自主防災力を高め、災害に強いまちづくりが進められている」47.8% (昨年53.1%)
- ・ 「地域での防犯活動が進められている」44.3% (昨年49.1%)
- ・ 「地域での交通安全対策が進められている」49.4% (昨年53.0%)
- ・ 「都市景観の向上や町を美しくする運動が展開されている」52.6% (昨年59.2%)
- ・ 「快適な生活環境が確保されている」60.0% (昨年76.2%)

となっています。

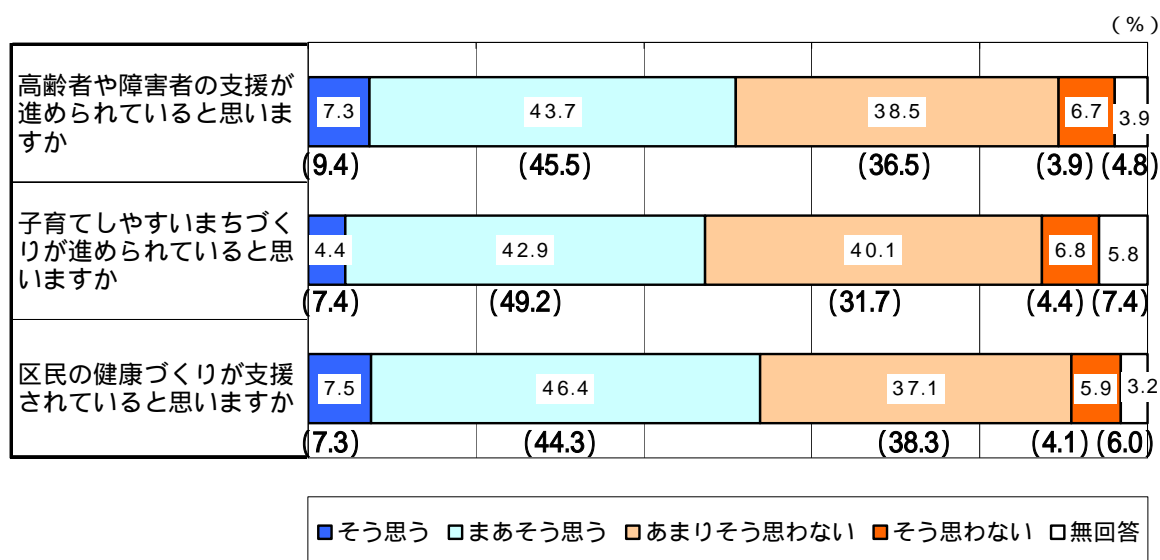
「快適な生活環境が確保されている」の項目は他の項目より高い評価となっていますが、昨年に比べると大きく落ち込んでいます(16.2ポイント)。

また、「地域の自主防災力を高め、災害に強いまちづくりが進められている」と「地域での防犯活動が進められている」は、マイナス評価(「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合)の割合の方が高くなっています(各49.2%、52.7%)。

2) 『人や地域があたたかい「ホット」なまち』に関して

「区民の健康づくりが支援されている」、「高齢者や障害者の支援が進められている」は「思う」が過半数

『人や地域があたたかい「ホット」なまち』(子育てしやすい、高齢者・障害者が生活しやすいなど)に関するおたずねします。



(カッコ書きは昨年度数値)

『人や地域があたたかい「ホット」なまち』に関する実現度のプラス評価は、

- ・ 「高齢者や障害者の支援が進められている」51.0% (昨年54.9%)
- ・ 「子育てしやすいまちづくりが進められている」47.3% (昨年56.6%)
- ・ 「区民の健康づくりが支援されている」53.9% (昨年51.6%)

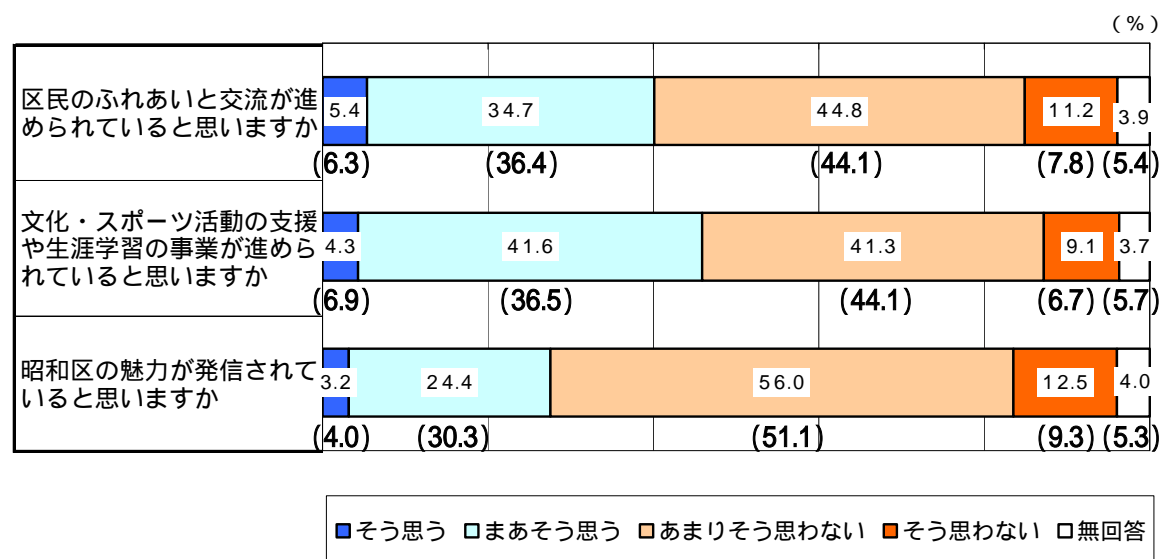
「区民の健康づくりが支援されている」が最も高くなっています。次いで、「高齢者や障害者の支援が進められている」となっています。

一方、「子育てしやすいまちづくりが進められている」については、プラス評価が昨年に比べ下がり(9.3ポイント) マイナス評価が上がっている(+10.8ポイント)。

3) 『ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』に関して

「文化・スポーツ活動の支援や生涯学習の事業が進められている」は「思う」が5割弱
 「昭和区の魅力が発信されている」は「思わない」が69%

『ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』(文化・スポーツイベントがある、まちに活気がある、世代間交流がさかんなど)に関しておたずねします。



(カッコ書きは昨年度数値)

『ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』に関しての実現度のプラス評価は、

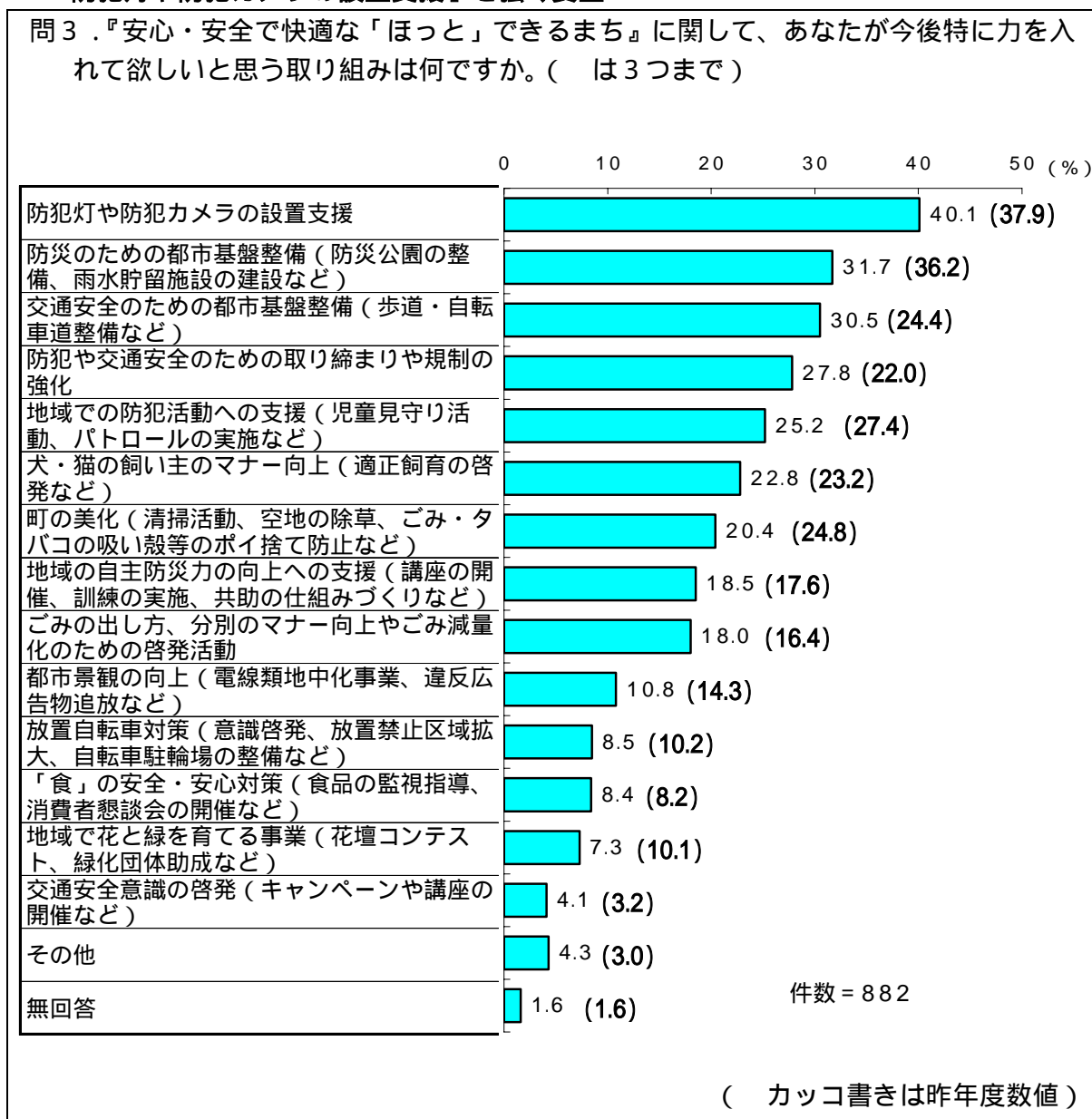
- ・ 「区民のふれあいと交流が進められている」40.1% (昨年42.7%)
- ・ 「文化・スポーツ活動の支援や生涯学習の事業が進められている」45.9% (昨年43.4%)
- ・ 「昭和区の魅力が発信されている」27.6% (昨年34.3%)

であり、他の重点施策に比べると低くなっています。

また、各項目ともマイナス評価の方が高くなっています(上から、56.0%、50.4%、68.5%)。

(4) 『安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

「防犯灯や防犯カメラの設置支援」を強く要望



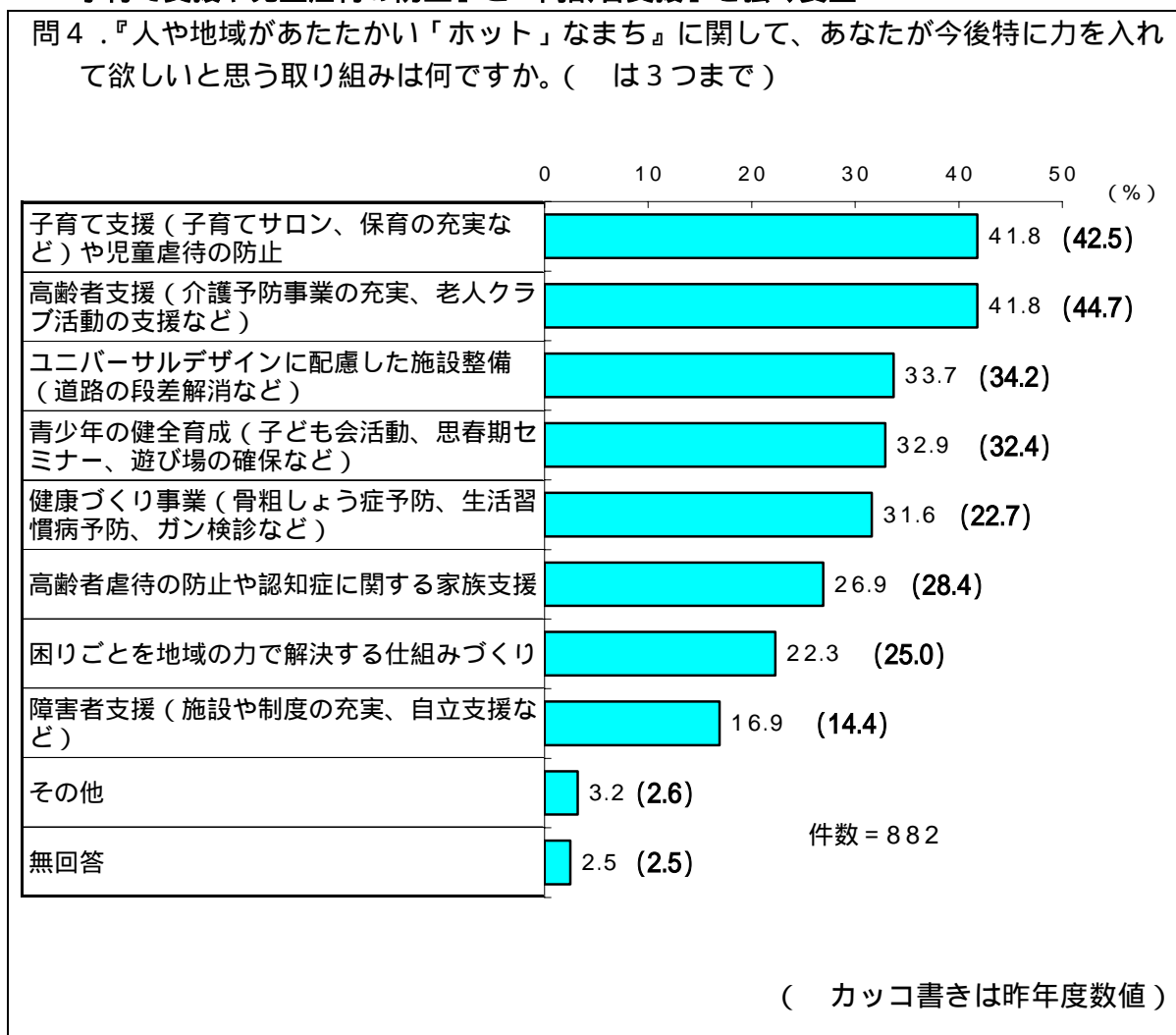
『安心・安全で快適な「ほっと」できるまち』に関して、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・ 「防犯灯や防犯カメラの設置支援」 40.1% (昨年37.9%)
 - ・ 「防災のための都市基盤整備(防災公園の整備、雨水貯留施設の建設など)」 31.7% (昨年36.2%)
 - ・ 「交通安全のための都市基盤整備(歩道・自転車道整備など)」 30.5% (昨年24.4%)
- などインフラ整備が30%を上回り、ハード面の取り組みが上位を占めています。

以下「防犯や交通安全のための取り締まりや規制の強化」(27.8%)、「地域での防犯活動への支援(児童見守り活動、パトロールの実施など)」(25.2%)とソフト面の防犯関連の取り組みへの要望が25%を上回り、防犯・防災・交通安全に対する取り組みへの要望が高い結果となりました。

(5)『人や地域があたたかい「ホット」なまち』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

「子育て支援や児童虐待の防止」と「高齢者支援」を強く要望



『人や地域があたたかい「ホット」なまち』に関して、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

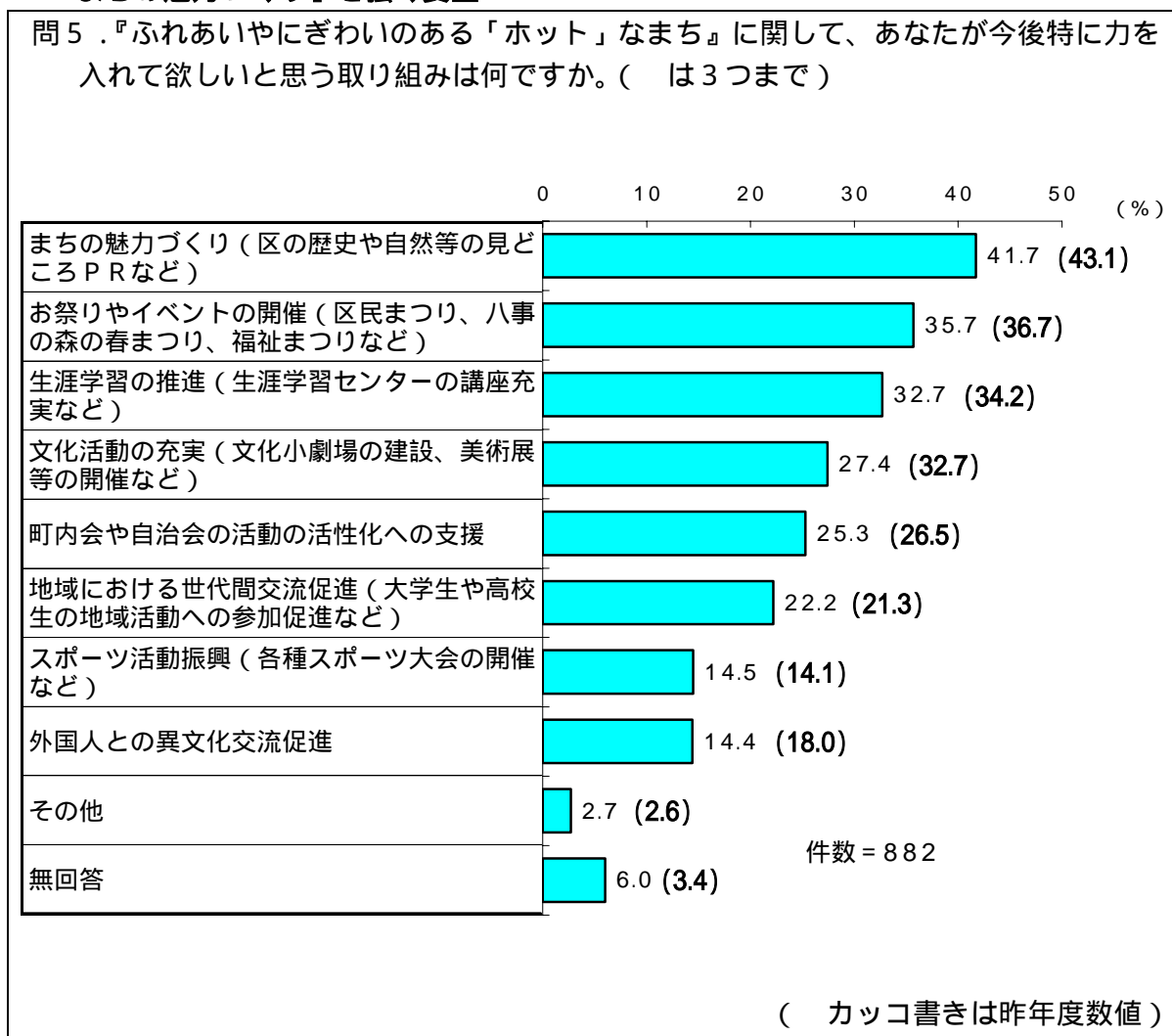
- ・「子育て支援(子育てサロン、保育の充実など)や児童虐待の防止」41.8%(昨年42.5%)
- ・「高齢者支援(介護予防事業の充実、老人クラブ活動の支援など)」41.8%(昨年44.7%)
- ・「ユニバーサルデザインに配慮した施設整備(道路の段差解消など)」33.7%(昨年34.2%)
- ・「青少年の健全育成(子ども会活動、思春期セミナー、遊び場の確保など)」32.9%(昨年32.4%)
- ・「健康づくり事業(骨粗しょう症予防、生活習慣病予防、ガン検診など)」31.6%(昨年22.7%)

の5項目が30%を上回り、昨年と同様、子育て支援・高齢者支援が強く要望され、次いで、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備・青少年健全育成についても、要望が強いことが伺われます。

「健康づくり事業」については、昨年に比べ8.9ポイント上昇しており、健康づくりに対する意識が高くなっています。

(6) 『ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』に関して、今後力を入れて欲しい取り組み

「まちの魅力づくり」を強く要望



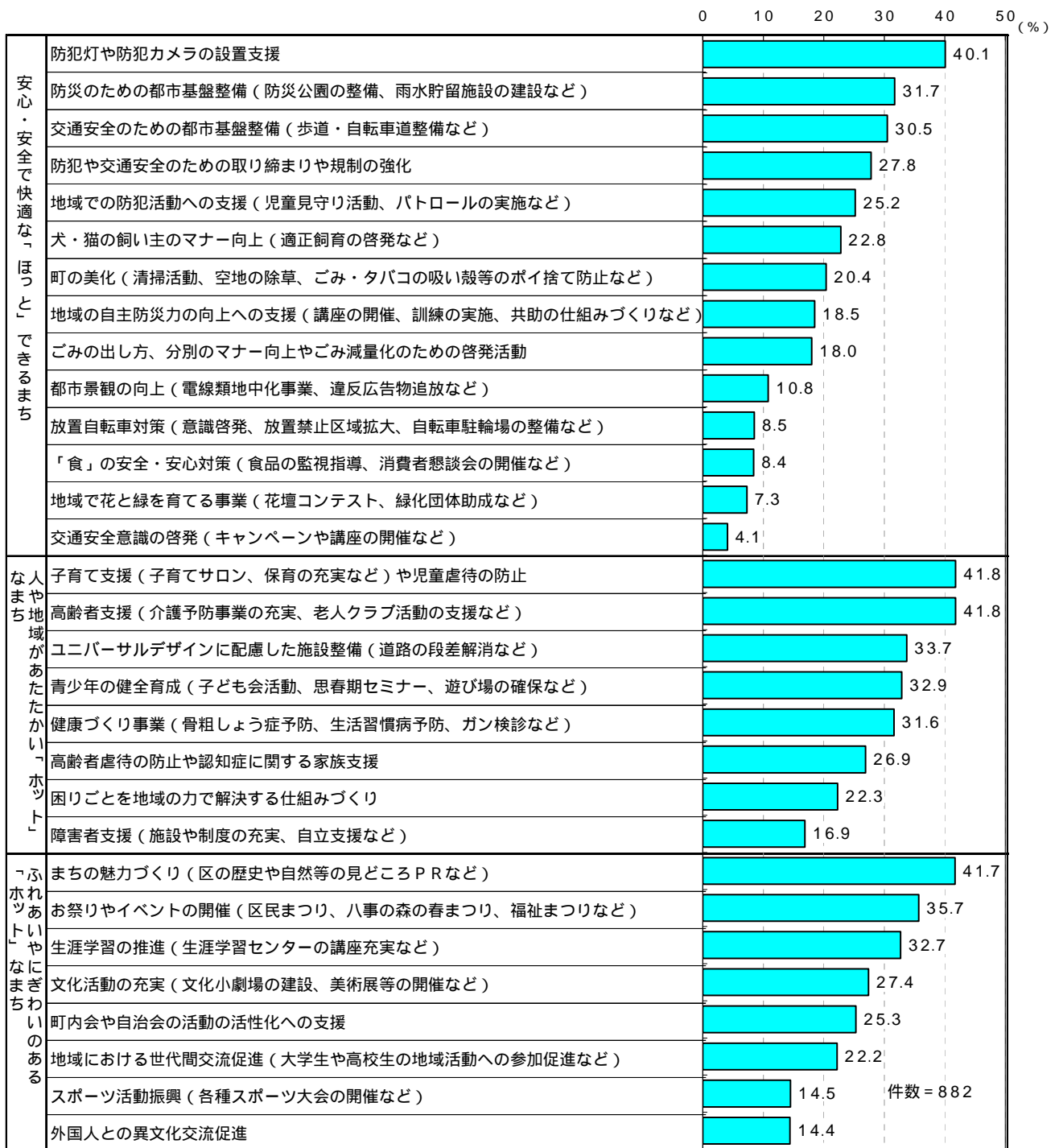
『ふれあいやにぎわいのある「ホット」なまち』に関して、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みとしては、

- ・ 「まちの魅力づくり(区の歴史や自然等の見どころPRなど)」 41.7% (昨年 43.1%)
- ・ 「お祭りやイベントの開催(区民まつり、八事の森の春まつり、福祉まつりなど)」 35.7% (昨年 36.7%)
- ・ 「生涯学習の推進(生涯学習センターの講座充実など)」 32.7% (昨年 34.2%)

が30%を超えています。

昨年度と同様「まちの魅力づくり」が強く望まれており、次いで、「まつり・イベント」、「生涯学習」と続いています。

今後力を入れて欲しいと思う取り組み

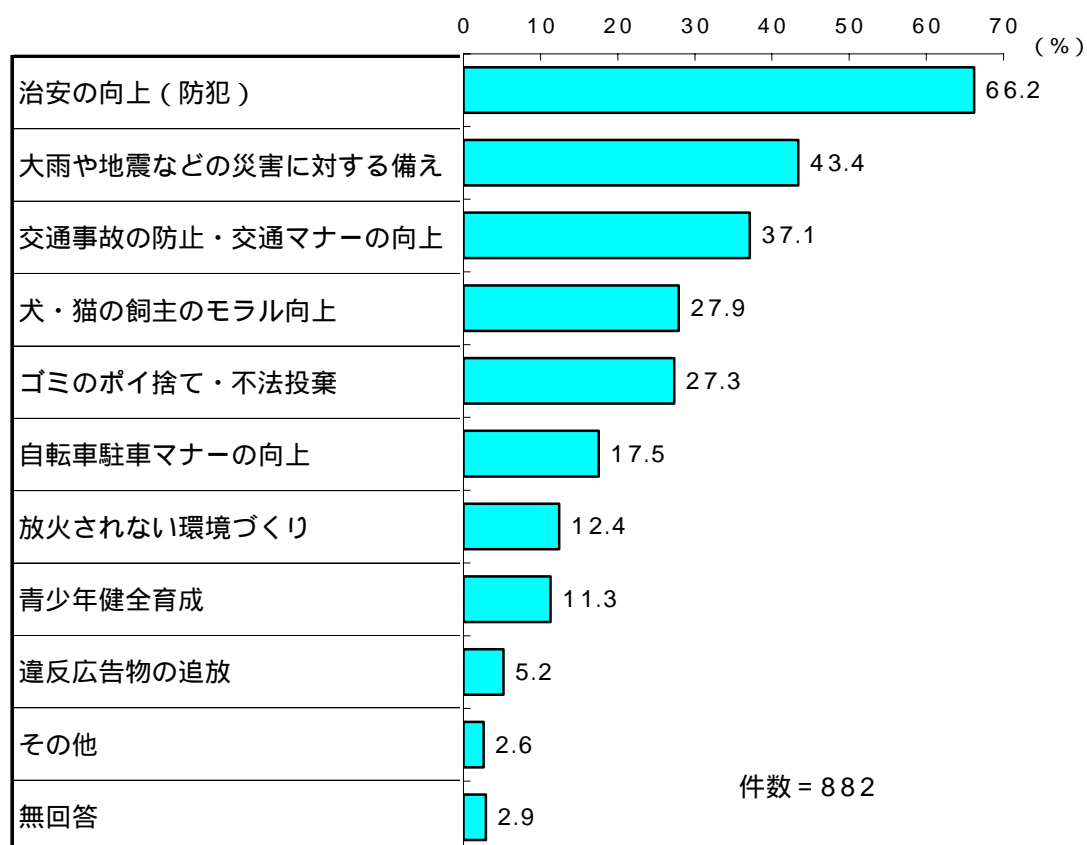


2 区役所で行っている具体的な事業について

(1) 安心・安全で快適なまちを実現するための地域の課題

地域の課題は「治安の向上（防犯）」が66%

問6. 名古屋市では、「安心・安全で快適なまちづくりなごや条例」を制定し、市民の皆さんや事業者の皆さんと協働で、だれもが安心・安全で快適に暮らせるまちの実現を目指しています。安心・安全で快適なまちを実現するために、お住まいの地域で課題となっていることはなんだと思いますか？（は3つまで）



名古屋市では、「安心・安全で快適なまちづくりなごや条例」を制定し、市民等と協働で、だれもが安心・安全で快適に暮らせるまちの実現を目指しています。

そのためにお住まいの地域で課題となっていることとしては、

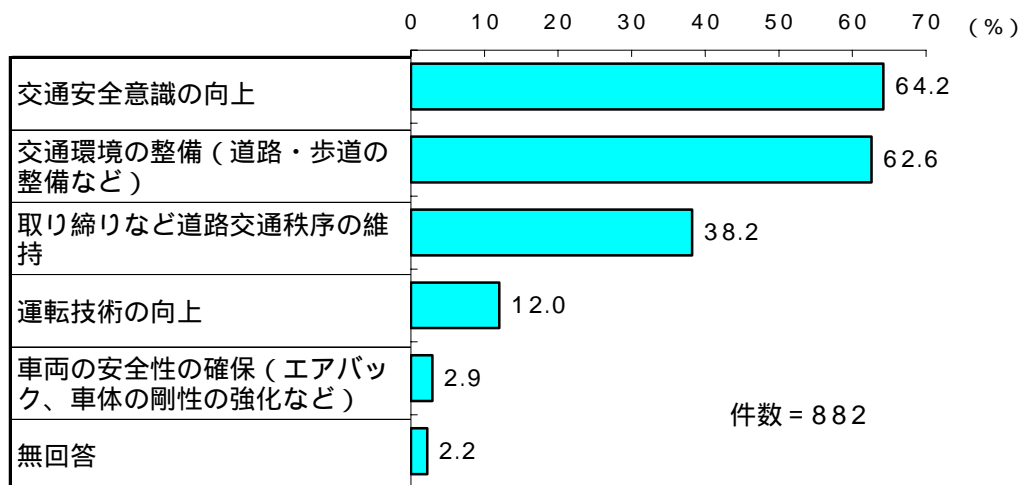
- ・「治安の向上（防犯）」（66.2%）
- ・「大雨や地震などの災害に対する備え」（43.4%）
- ・「交通事故の防止・交通マナーの向上」（37.1%）

の3項目が、3割を超えており、特に「治安の向上（防犯）」が最も高く、7割近くの方が課題としてあげています。

(2) 交通事故を減らすための効果的な取り組み

交通事故の減少には「交通安全意識の向上」と「交通環境の整備」が効果的と思われる

問7. あなたは、交通事故を減らすには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。
(は2つまで)



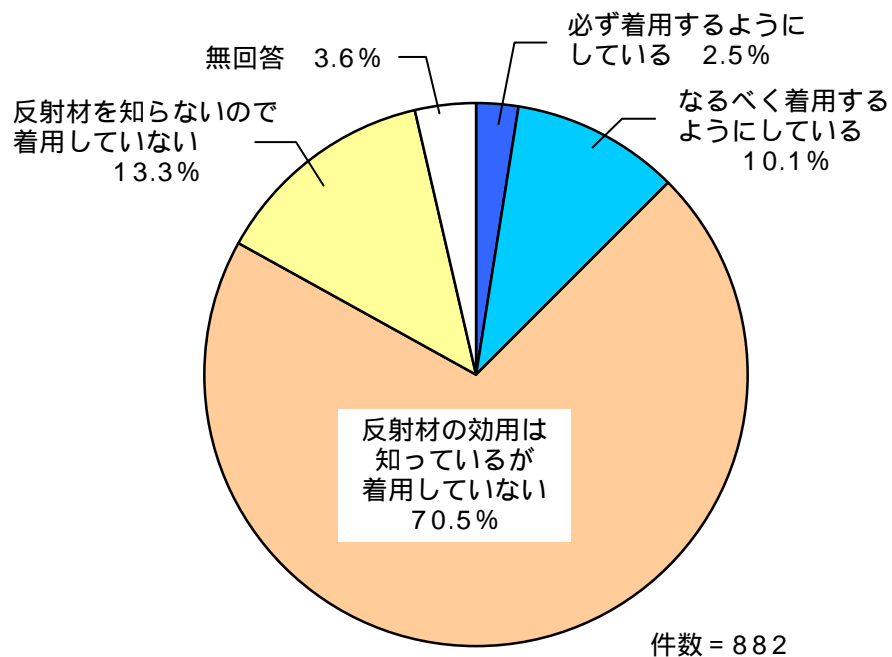
交通事故を減らすために効果的な取り組みとしては、「交通安全意識の向上」(64.2%)と「交通環境の整備(道路・歩道の整備など)」(62.6%)の割合が高く、次いで「取り締りなど道路交通秩序の維持」(38.2%)となっています。

(3) 反射材について

1) 夜間外出時の反射材着用の有無

反射材の着用は 13%

問8 - 1 . あなたは、夜間など外出時に反射材を着用していますか。(は1つ)



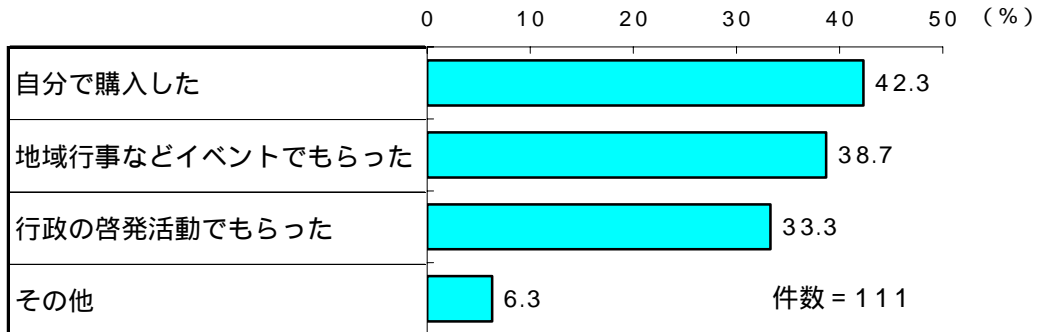
夜間など外出時に反射材を着用するかについては、「必ず着用するようにしている」(2.5%)と「なるべく着用するようにしている」(10.1%)を合わせて 12.6%の方が着用されています。

一方、「反射材の効用は知っているが着用していない」(70.5%)、「反射材を知らないのので着用していない」(13.3%)を合わせると、着用していない方が8割以上となっています。

2) 反射材の入手経路

入手経路は「自分で購入した」、「地域行事」や「行政の啓発活動」でもらっている

問8 - 2 . その反射材はどのようにして手に入れましたか。(当てはまるもの全てに)

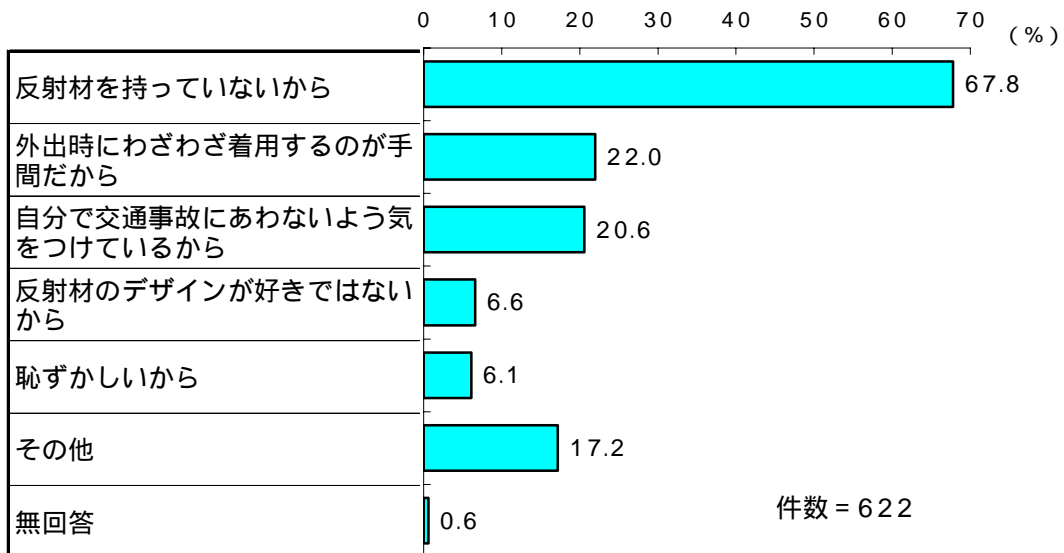


反射材を着用している方(111人)の入手経路としては、「自分で購入した」(42.3%)割合が最も高いものの、「地域行事などイベントでもらった」(38.7%)、「行政の啓発活動でもらった」(33.3%)と入手方法は分散しています。

3) 反射材を着用しない理由

着用しない理由は「反射材を持っていないから」が68%

問8 - 3 . あなたが、反射材を着用しない理由はなんですか?(当てはまるもの全てに)



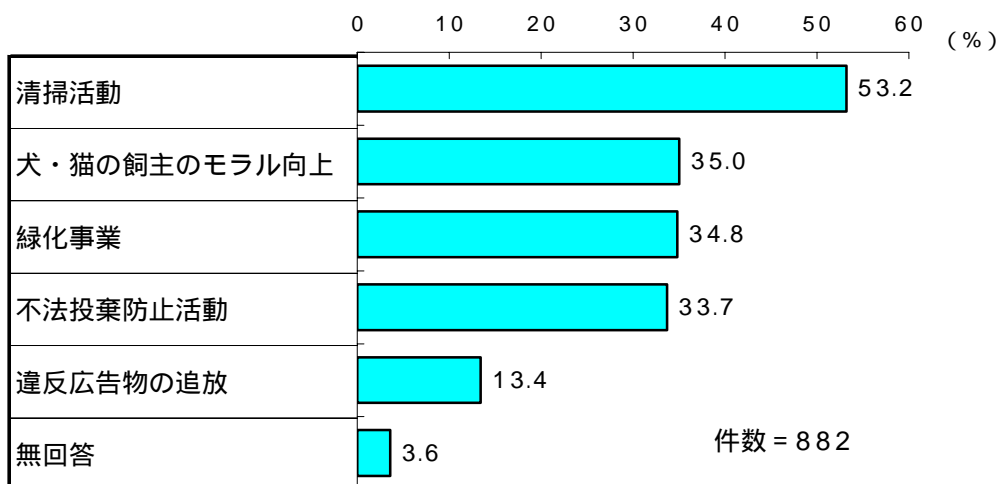
反射材の効用は知っているが着用していない方(622人)の理由としては、「反射材を持っていないから」が最も多く約7割があげています。

「外出時にわざわざ着用するのが手間だから」、「自分で交通事故にあわないよう気をつけているから」は2割台となっています。

(4) まちの美観を高めるための必要な取り組み

まちの美観を高めるには「清掃活動」が必要だと思う方が過半数

問9. まちの美観を高めるために、あなたが特に必要だと思う取り組みは何ですか。
(は2つまで)

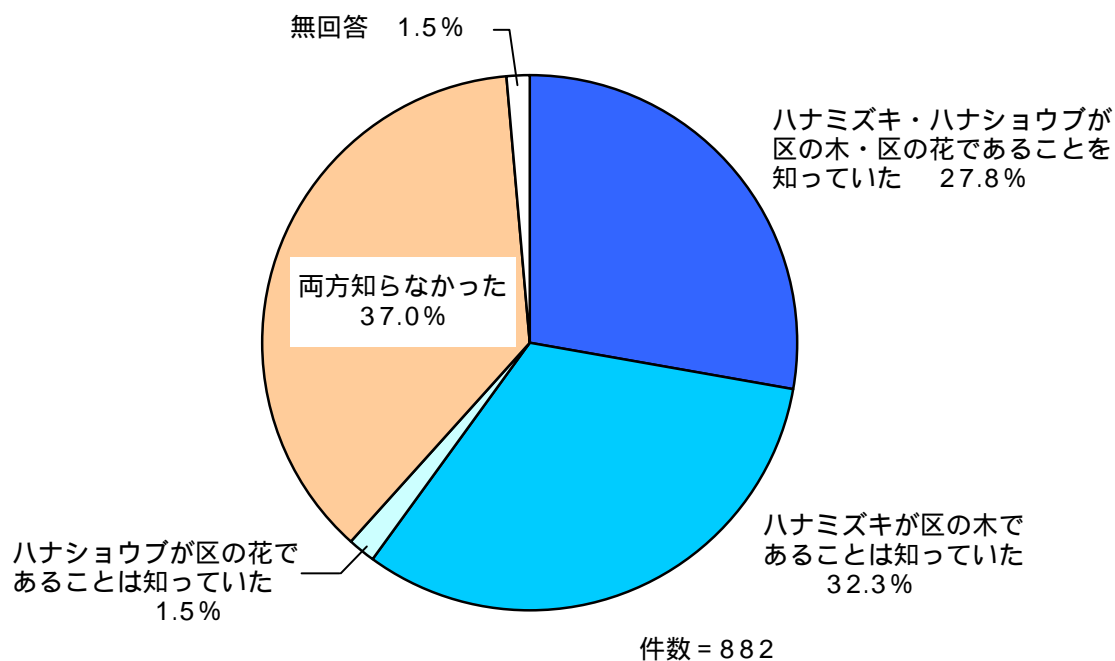


まちの美観を高めるために必要だと思う取り組みとしては、「清掃活動」(53.2%)の割合が最も高く、次いで「犬・猫の飼主のモラル向上」(35.0%)、「緑化事業」(34.8%)、「不法投棄防止活動」(33.7%)となっています。

(5) 昭和区の区の木、区の花の認知状況

区の木「ハナミズキ」の認知度は 60%、区の花「ハナショウブ」の認知度は 29%

問 10 . あなたは、昭和区の区の木が「ハナミズキ」、区の花が「ハナショウブ」であることを知っていましたか。(1 は 1 つ)



昭和区の区の木が「ハナミズキ」、区の花が「ハナショウブ」であることの認知度としては、「ハナミズキ・ハナショウブが区の木・区の花であることを知っていた」、「ハナミズキが区の木であることは知っていた」を合わせ、区の木の認知度は 60.1% でした。

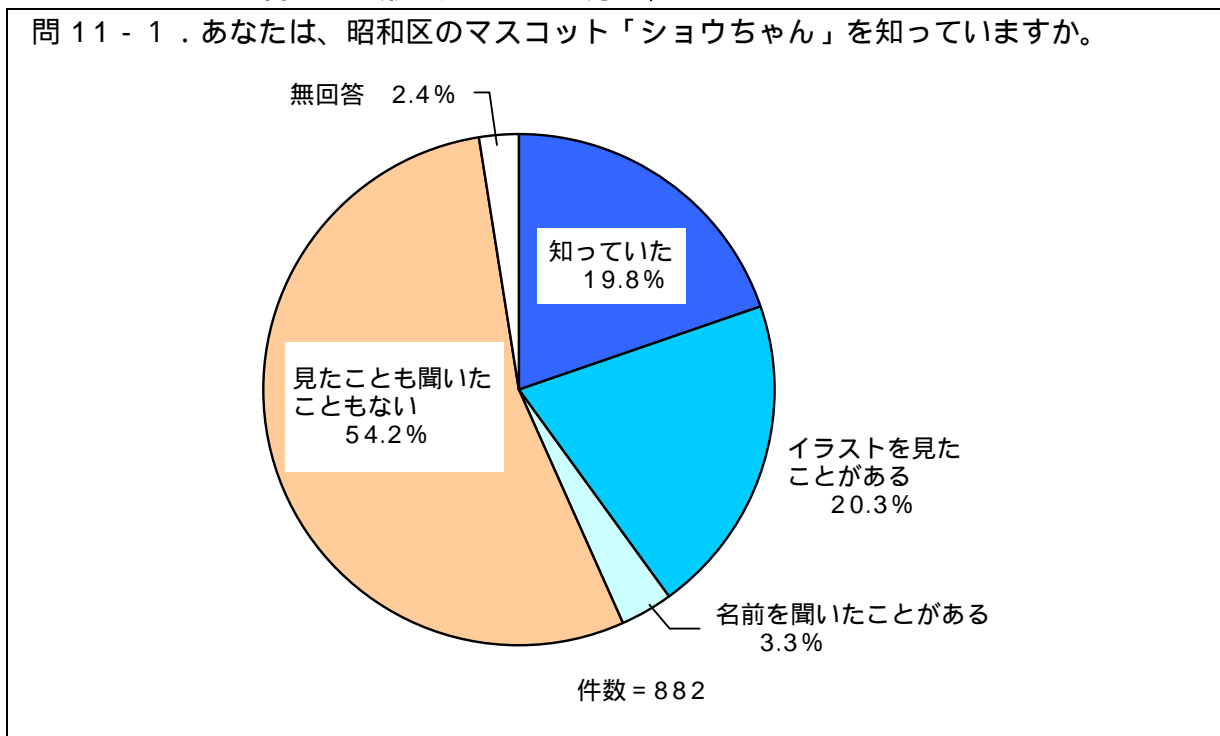
区の花の認知度は、「ハナミズキ・ハナショウブが区の木・区の花であることを知っていた」、「ハナショウブが区の花であることは知っていた」を合わせて 29.3% となっています。

一方、「両方知らなかった」は 37.0% となっています。

(6) 昭和三区のマスコット「ショウちゃん」について

1) 昭和三区のマスコット「ショウちゃん」の認知状況

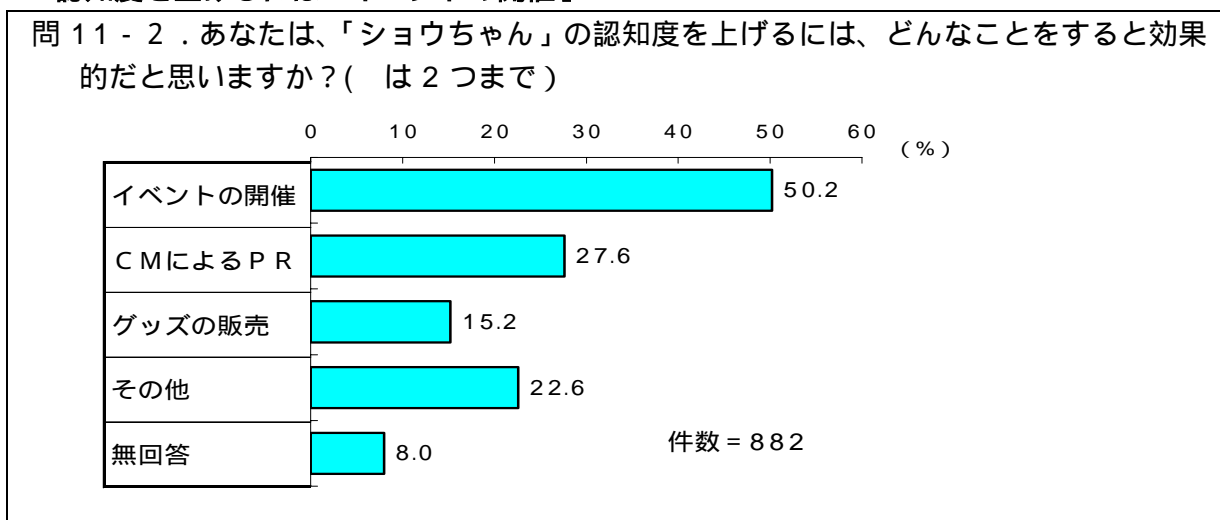
ショウちゃんを何らかの形で知っていた方は、43%



昭和三区のマスコット「ショウちゃん」を知っていた割合は 19.8%で、「イラストを見たことがある」、「名前を聞いたことがある」を合わせた見聞きした割合は 43.4%でした。一方、「見たことも聞いたこともない」は 54.2%と過半数を占めています。

2) 「ショウちゃん」の認知度を上げる効果的な方法

認知度を上げるには「イベントの開催」



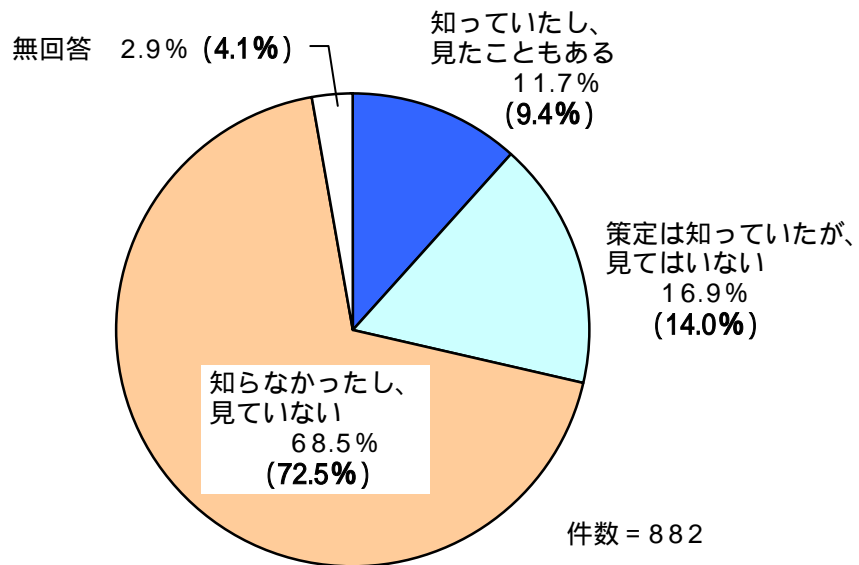
「ショウちゃん」の認知度を上げるのに効果的なこととしては、「イベントの開催」(50.2%)の割合が最も高く、次いで「CMによるPR」(27.6%)、「グッズの販売」(15.2%)となっています。

3 区役所の情報発信の状況について

(1) 「区政運営方針」策定の認知度

「区政運営方針」の閲覧率は12%、認知度は29%

問 12-1 . 名古屋市では、毎年度、区ごとに「区政運営方針」を策定しています。あなたは、このアンケートを記入する以前から、「区政運営方針」が策定されていることを知っていましたか。また、平成 24 年度の区政運営方針をご覧になったことはありますか。(は1つ)

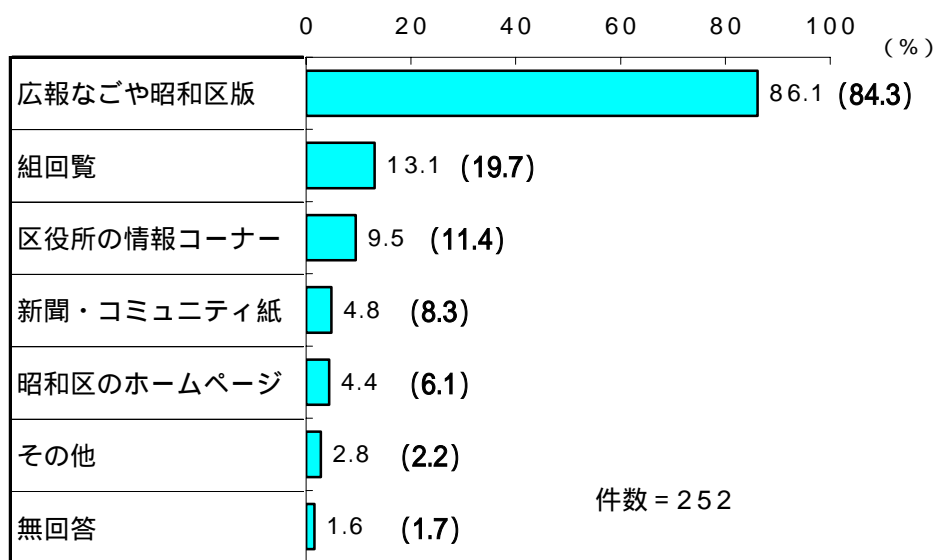


平成 24 年度の「区政運営方針」については、「知っていたし、見たこともある」は 11.7% で、「策定は知っていたが、見てはいない」(16.9%) を合わせると 28.6% となっています。一方、「知らなかったし、見ていない」が 68.5% と 7 割程度を占めています。

(2) 「区政運営方針」の認知媒体

「広報なごや昭和区版」が最大の認知経路

問 12 - 2 . 何でお知りになりましたか。(当てはまるもの全てに)



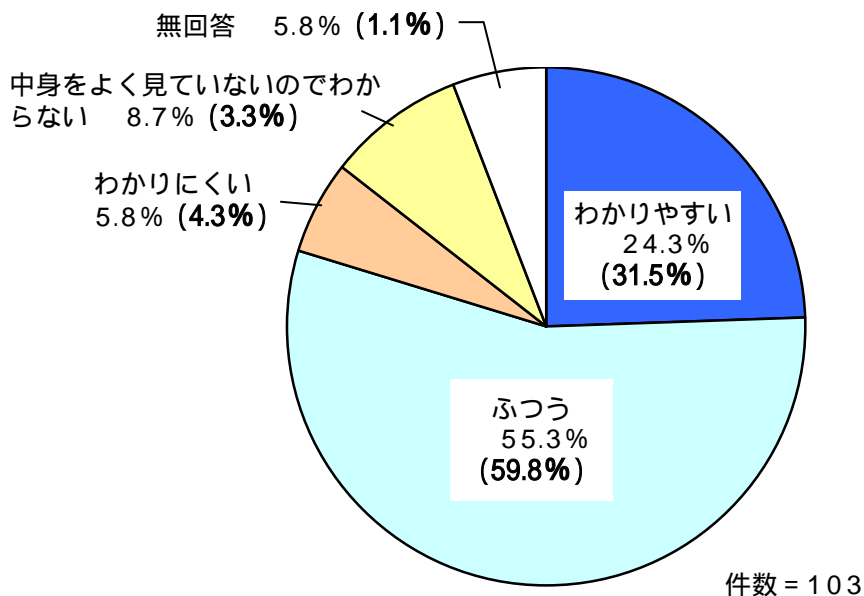
(カッコ書きは昨年度数値)

「区政運営方針」を知っていた方(252人)では、「広報なごや昭和区版」(86.1%)で知った方が圧倒的に多い状況です。ほかには「組回覧」(13.1%)や「区役所の情報コーナー」(9.5%)が1割前後みられるだけとなっています。

(3)「区政運営方針」の構成や内容の評価

「わかりやすい」が24%、「ふつう」が55%

問12-3. 構成や内容などは、わかりやすいものでしたか。(は1つ)



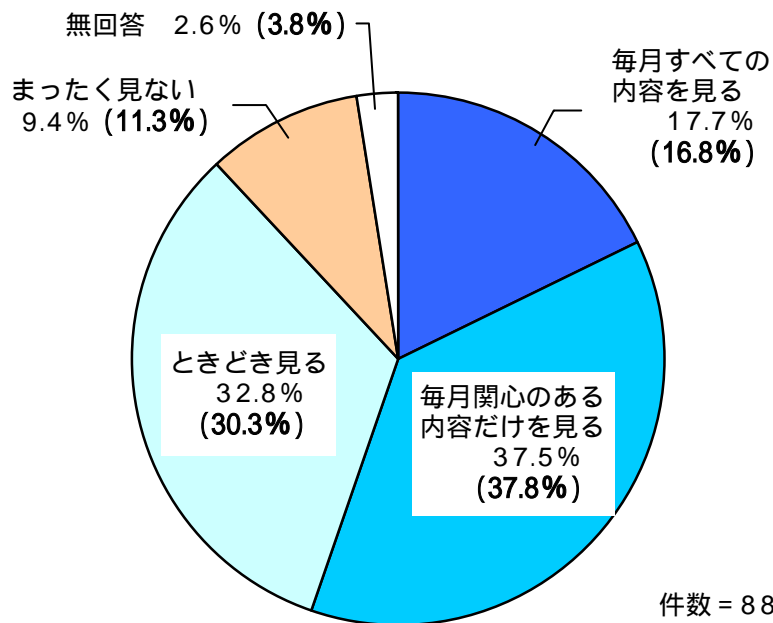
(カッコ書きは昨年度数値)

「区政運営方針」を見た方(103人)では、構成や内容などが「わかりやすい」は24.3%で、「ふつう」(55.3%)が過半数を占め、「わかりにくい」(5.8%)と評価した割合は僅かとなっています。

(4)「広報なごや」昭和区版の閲読度

「広報なごや」昭和区版を毎月見る方は半数以上

問 13 . あなたは、「広報なごや」昭和区版をどの位見ますか。(は1つ)

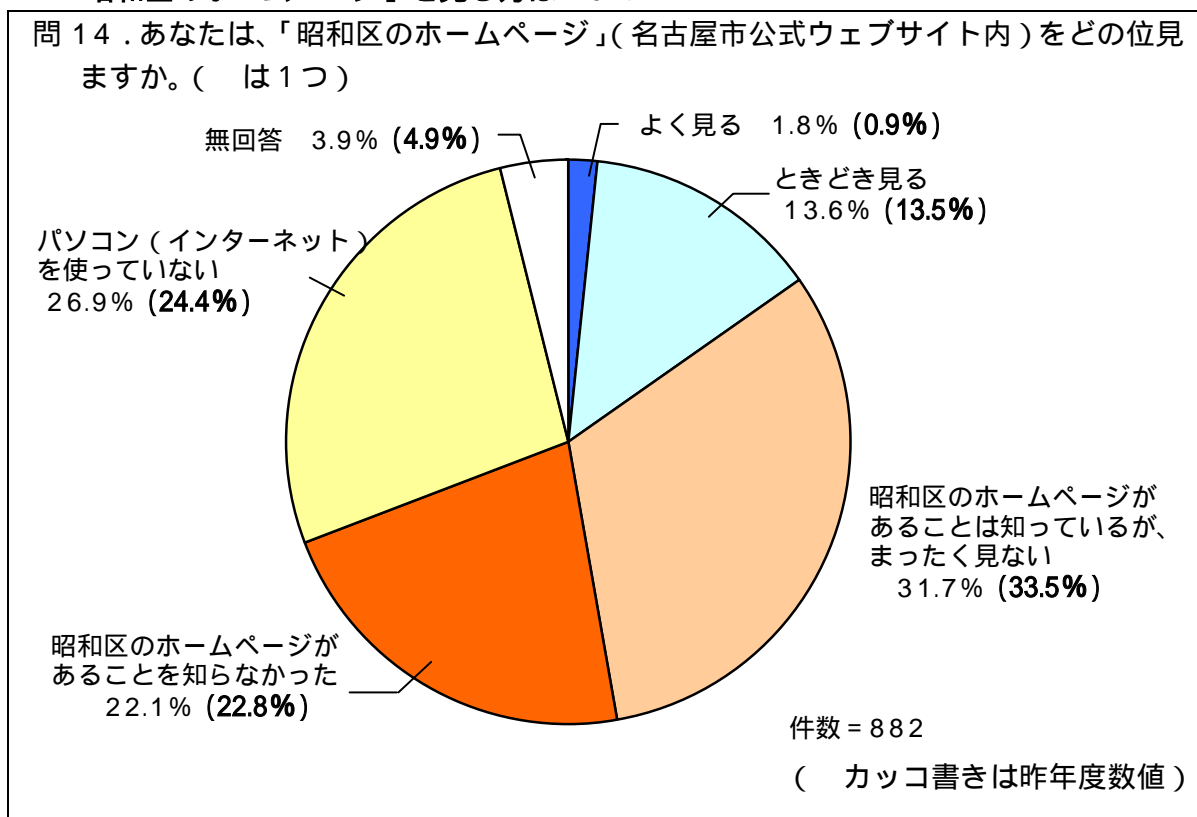


(カッコ書きは昨年度数値)

「広報なごや」昭和区版の閲読については、「毎月すべての内容を見る」が 17.7%、「毎月関心のある内容だけを見る」が 37.5%と、合わせた 55.2%が毎月必要な情報を「広報なごや」から得ている状況です。一方、「まったく見ない」割合は 9.4%となっています。

(5) 「昭和区のホームページ」の閲覧度

「昭和区のホームページ」を見る方は 15%



名古屋市公式ウェブサイト内の「昭和区のホームページ」については、「よく見る」(1.8%)、「ときどき見る」(13.6%)合わせて 15.4%が見ています。一方、「ホームページがあることは知っているが、まったく見ない」(31.7%)、「ホームページがあることを知らなかった」(22.1%) が合わせて半数以上を占めています。

また「パソコン(インターネット)を使っていない」も 26.9%みられ、市・区の情報発信手段として「広報なごや」の役割は大きいと思われます。

4 意見・要望

(1) まちづくりや区役所に対する意見・要望

意見・要望の記入 398 件

問 15 . 昭和区のまちづくりや昭和区役所に対するご意見・ご要望、今後取り組んでほしい施策などがありましたら、ご自由にお書きください。

昭和区のまちづくりや昭和区役所に対するご意見・ご要望、今後取り組んでほしい施策などを自由回答形式でたずねたところ、公園の整備・管理、自転車(マナー、駐輪場、専用道路)や防犯についてなど、398 件の意見・ご要望をいただきました。